

2024 年度 さっぽろまちづくりパートナー企業 取組事例集



NISSAY

未来のあたりまえをつくる。



東京海上日動

株式会社
良品計画

SAPPORO

《 目 次 》

サッポロホールディングス株式会社 サッポロビール株式会社	1
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	3
イオン株式会社 イオン北海道株式会社	5
日本ハムマーケティング株式会社 株式会社北海道日本ハムファイターズ 株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント	7
株式会社ローソン	9
一般社団法人札幌青年会議所	11
株式会社セコマ 株式会社セイコーフレッシュフーズ 株式会社北燦食品	13
生活協同組合コープさっぽろ	15
雪印メグミルク株式会社	17
札幌駅総合開発株式会社	19
日本電信電話株式会社	21
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	23
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社札幌支店	25
サツドラホールディングス株式会社	26
日本郵便株式会社札幌市内郵便局	27
日本生命保険相互会社札幌支社	29
S O M P O ひまわり生命保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社札幌支店	31
大日本印刷株式会社	33
東京海上日動火災保険株式会社	35
株式会社良品計画	37

サッポロホールディングス株式会社・サッポロビール株式会社

平成 20 年 12 月 17 日 締結



- ・スポーツを楽しむ、健康づくりを推進するまちづくり
- ・都市の魅力と賑わいを生み出すまちづくり
- ・食の安全・安心を通じた人と環境にやさしいまちづくり
- ・子どもの健やかな成長を支えるまちづくり

●サッポロスマイル運用協力

(サッポロホールディングス)

期間:通年

商標使用申請案件について、審査のお手伝いをしています。



●大通公園 8 丁目会場の花壇設営:「リラの会」との協働

(サッポロビール)

期間:2024 年 4 月～10 月



●在札幌ドイツ連邦共和国名誉領事事務所・在札幌チェコ共和国名誉領事館を設置

(サッポロビール)

期間:通年

サッポロファクトリーフロンティア館3階のサッポロビール事務所に設置しています。

本年3月にはドイツ・ミュンヘンからマルティン・フート主席公使をお招きし、サッポロビール北海道本社代表／森本のドイツ連邦共和国名誉領事就任式が執り行われました。



●さっぽろ夏まつり「THEサッポロビヤガーデン」

(サッポロビール、北海道サッポロライオン)

期間:2024 年 7 月 19 日～8 月 14 日

大通ビアガーデン8丁目会場にて

「THEサッポロビヤガーデン」を開催し、

売上の一部を札幌市へ寄付いたしました。

北海道サッポロライオンのメニューに加え、本年は会場限定ビール「開拓使 富良野シトラス」を5年ぶりに販売しました。



●さっぽろ圏高齢者運転免許証自主返納支援制度におけるサービス提供

(新星苑・北海道サッポロライオン)

期間:通年

内容:サッポロビール園、さっぽろ圏内のサッポロライオン各店にて生ビール 1 杯サービスを行っています。

●全道の小学 1 年生(約 34,500 人)に交通安全グッズとして、スポーツチームとのコラボリフレクター配布

※札幌市・北広島市はファイターズコラボ、その他 177 市町村はコンサドーレコラボのリフレクター配布

(ポッカサッポロ)

期間:7 月 16～19 日



●保健福祉局による札幌市民ウェルネス推進の取り組みに参画

(サッポロビール)

期間:2023 年 9 月 14 日～

さっぽろまちづくりパートナー協定締結企業として、ウェルネス推進の取り組みに参画。本年6月には SAPPORO BEER HOLIDAY2024(主催:サッポロビール、共催:北海道新聞社)オープニングセレモニーにて、さっぽろウェルネスパートナー協定締結式を開催しました。



以上

平成21年1月8日 締結



～北の大地とともに～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

- ・未来を担う子ども達が健やかに育つまちづくり
- ・安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくり
- ・観光・文化・スポーツの振興を通じた、都市の魅力が輝くまちづくり
- ・地域の連携・協働を進めるまちづくり

◆ 未来を担う子ども達が健やかに育つまちづくり

①SDGsやアップサイクルを学ぶ「コーヒー石鹸作り」プログラムの実施

SDGsや当社のPETボトルリサイクル、アップサイクルについて、体験しながら楽しく学べるように、コーヒー飲料を製造する際の副産物であるコーヒーグラウンズ(コーヒーの豆かす)を使用する「コーヒー石鹸作り」と講話のプログラムを実施しています。「廃棄物ゼロ社会の実現」の重要性に加え、当社製品「い・ろ・は・す 天然水」の採水地である清田区白旗山の紹介と、水資源保護の大切さを次世代へ伝えていきます。



②教育機関との連携

産学協働でのSDGs推進に向けた取り組みによる地域創生や社会課題の解決を目指し、出前授業やカリキュラムの支援などを行っております。2024年度は清田高校にて他企業と連携し課題解決型の授業を開催しました。また、包括連携協定を結んでいる札幌国際大学では新設されたカーリングクラブとのスポンサー契約や、YOSAKOIチームの皆様と一緒に創成川や厚別川の清掃活動を行い、地域社会の更なる発展を目指しています。



◆ 安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくり

①災害時における飲料水の供給及び消火用水等の供給協力

災害時には防災協定に基づき、飲料水の供給を行っております。この災害時の飲料水の供給に関し、北海道胆振東部地震の際、発生当日から札幌市の要請に応えたことが認められ、2019年1月に札幌市から、「平成30年北海道胆振東部地震における応急支援物資の供給等に係る感謝状」が贈呈されました。また、非常時には、当社工場の排水処理施設「ラグーン」の水を消火用水として供給いたします。札幌工場は災害応急用(生活用水)協力井戸にも指定されております。

②電光掲示板付き災害対応型自動販売機を活かした防災・防犯への協力

自動販売機上部の電光掲示板は、自治体や警察署からの防災・防犯の啓発メッセージ配信を通じて、防災や防犯に役立てられています。災害時には自治体の判断で飲料の無料提供を行う事で、ライフラインの確保に貢献します。また、防災協定に基づき、各区の防災訓練に参加して、無料提供の実演などを行うことで、災害時への備えを啓発しています。



③ウェルネス(健康寿命延伸)事業への協力

北海道の豊かな大地で育まれた良質な原材料を使って、安全安心な製品をお届けし、市民の皆様の健全なライフスタイルに貢献することを目指す「どさんこ企業」として、札幌市が目指す『ウェルネス』の実現を支援するため、2023年11月1日「さっぽろウェルネスパートナー協定」を締結しました。現在は『SAPPORO・ウォークチャレンジ』に協賛・参加を行うほか、協定締結企業と連携したウェルネスイベントを定期的実施するなど取組を推進しています。



◆ 観光、文化、スポーツの振興を通じた、都市の魅力が輝くまちづくり

①札幌円山動物園での取り組み

道央圏における代表的な観光・教育施設の札幌円山動物園において、「nature café EARTH(ネイチャーカフェ アース)」を運営。来園者のくつろぎの場として、また自然環境の大切さを楽しく学ぶ場として活用いただいています。また、2024年には新施設であるオランウータンとボルネオの森に「い・ろ・は・すビジョン」を寄贈し、ボルネオの自然やオランウータンの生態を学ぶことができるインタラクティブコンテンツの提供を通じて学習機会の創出を行っています。



②地域のお祭りを応援

各地域でのお祭りの賑わいづくりにも協力し、魅力あるまちづくりに向けた取り組みを推進しています。さっぽろ雪まつりでは、同イベントを広くPRするとともに、観光客の皆様へ札幌の魅力を伝えるため北海道限定デザイン缶を発売しています。また、YOSAKOIソーラン祭りでは、参加チームに対する給水所設置による水分補給のお手伝いや、札幌国際大学YOSAKOIソーラン部「コカ・コーラ札幌国際大学チーム」の応援を通じてお祭りを盛り上げています。



◆ 地域の連携、協働を進めるまちづくり

①ボトル to ボトル施行事業の実施

札幌市の市民等が排出する PET ボトルの一部を資源循環型リサイクルとして再生利用することにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進し、持続可能な環境・社会・経済を目指すことを目的とした「ボトル to ボトル試行事業」を1年間の期限付きで実施いたします。本事業にて再生されたPET原料は、当社が製造・販売するコカ・コーラ社製品の容器に使用し、環境に配慮した社会を目指します。



②各区とのパートナー協定(区民が主体のまちづくり推進)

札幌市全10区とパートナー協定を締結しています。各区のふれあいや賑わいの応援、各区のシンボルである資源(観光地、食品、文化、マスコットキャラクターなど)の活性化を応援するため、電光掲示板付き災害対応型自動販売機を使った情報発信のほか、自動販売機の売上の一部を寄付する活動、区民とともにイベントへ参加、各区のアダプトプログラムや環境美化活動に参加する等、地域ごとに協議して地域課題解決に向けた様々な活動を推進しています。

[活動例]

- ①清田区 … 旧道の日景観アップ活動、あしりべつ桜並木通花植え、厚別川での清掃活動
- ②北 区 … 防犯カレンダー作成、防災訓練への参加
- ③白石区 … 防災訓練への参加、ふれあい祭りへの協賛、マラソン大会への協賛
- ④西 区 … SDGsフォトコンテストへの協賛、マラソン大会への協賛、琴似発寒川一斉清掃活動
- ⑤厚別区 … スポーツチャレンジへの支援協力、安心・安全啓発イベントへの支援協力
- ⑥東 区 … 生活に密着したウォーキング普及事業に協力、札幌黄ブランド化推進協議会への支援
- ⑦中央区 … アダプトプログラムによる清掃活動、中ウオークン寄付型自動販売機の展開
- ⑧南 区 … 二十歳のつどいへの協賛
- ⑨手稲区 … 安全・安心見守りネットワーク事業への参画、手稲区合同認知症カフェへの支援
- ⑩豊平区 … 花植えプロジェクト支援、札幌市総合防災訓練への参加



平成21年1月23日 締結 平成26年1月30日 改定



- ・地域とともに環境行動を実践するまちづくり
- ・災害に強い、安心・安全なまちづくり
- ・ボランティアなど市民の主体的な活動を応援するまちづくり
- ・障がい者の自立支援を通じた、ぬくもりあふれる共生のまちづくり
- ・文化芸術振興支援を通じた創造性を育むまちづくり

◆ご当地WAONの寄付を通じた支援活動

①札幌市のご当地WAON「創造都市さっぽろWAON」

2014年3月発行の電子マネー「創造都市さっぽろWAON」は、「ご当地WAON」の趣旨に賛同していただいた会員様の、ご利用金額の一部を会員様に代わって札幌市に寄付し、札幌市の文化芸術振興にご利用いただく仕組みとなっており、イオングループで本年は約847万円、累計で約5,736万円を寄付させていただきました。

これらは、札幌の夏を彩る音楽イベントであります「パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)」や、札幌市・江別市・千歳市・石狩市・当別町・新篠津村の小学校6年生を札幌コンサートホールに招待した「Kitara ファースト・コンサート」など、札幌市の文化芸術振興に活用されています。2024年8月までの「創造都市さっぽろWAON」カード累計発行枚数は、全国で154,247枚になりました。



【Kitaraファーストコンサート】

②札幌市第2のご当地WAON「SAPPORO 雪ミクWAON」

2017年2月発行「SAPPORO 雪ミクWAON」も同様に、本年は約715万円、累計で約2,831万円をイオングループが会員様に代わって札幌市へ寄付させていただきました。

この寄付金は、これまで札幌市の観光振興に活用されていましたが、今期からは当社と札幌市がともに共生社会を目指す取り組みにも用途を拡大し、一部は札幌市スポーツ協会への寄付を通じてパラスポーツ振興に活用されます。

「SAPPORO 雪ミクWAON」は、市民の皆さまのみならず国内外の観光客の方々にも大変人気のWAONで、2024年8月までに累計198,279枚が発行されました。

これらふたつの札幌市のご当地WAONは、イオンが発行する全国で178ある(2024年11月現在)ご当地WAONの中でも有数の利用を誇る市民の皆さまから愛されるご当地WAONに成長しています。



Art by KEI / 雪ミク © GFM



Art by 裕 / 雪ミク 2024 © GFM

【SAPPORO 雪ミクWAON 2024発売】
2024年2月より雪ミク誕生15周年と「SNOW MIKU 2024」の開催を記念した限定バージョンを発行いたしました。

◆さっぽろスノースポーツフェスタ 2024について

2024年2月11日(日)に豊平川河川敷特設会場にて行われた「さっぽろスノースポーツフェスタ 2024」では、さっぽろスノースポーツフェスタ実行委員会主催のもと、ウインタースポーツの振興や観戦文化の醸成を目的に様々なウインタースポーツの体験会を開催しました。

このイベントにおいて、当社プレゼンツのシットスキー体験会を実施し、体験会では実際にシットスキーでコースを滑走でき、パラアスリートとの交流会も行いました。



◆イオンモールにて「イオン de パラスポ」を開催

「イオン de パラスポ」は、ご来店される多くのお客さまに、パラスポーツの体験や交流イベントを通し、多様な方々が相互に支え合う心のバリアフリーへの理解を深めていただくことを目的に、後援として札幌市のご協力や札幌市スポーツ協会に共催いただく中で、昨年は5回実施し、本年も5月・8月札幌平岡、7月札幌発寒のイオンモールで開催しました。

11月30日(土)、12月1日(日)にもイオンモール札幌発寒を会場としてイベントを開催いたします。



◆イオンモールにて「さっぽろウェルネスイベント」を開催

昨年11月に札幌市と締結した「さっぽろウェルネスパートナー協定」に基づき札幌市民のウェルネスの推進を目的とし「札幌ウェルネスイベント」を開催いたしました。

昨年は年間5回実施し、本年も5月・7月・8月の3回実施をしており、11月30日(土)、12月1日(日)に4回目の実施を予定しております。

パラスポーツ体験会やお取引先さま企業による健康測定会のほか、館内設置のウォーキングコースを巡る電子スタンプラリーなどを実施いたしました。



◆フードドライブの取り組み

当社では、食品廃棄物削減に関する理解と協力推進を目的に、フードドライブの取り組みを2022年6月にスタートしました。

現在、札幌市内では「イオン」「イオンスーパーセンター」13店舗で取り組みを実施しており、店舗で回収された食品は札幌市内で活動している子ども食堂やフードバンク事業を行っている団体へ寄贈され、必要とされる方々へ届けられています。



【イオン東札幌店の回収BOX】

◆PMFファミリーコンサートを開催

7月10日(水)から開催された「パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌2024」(以下、PMF)に先駆け、5月26日(日)にイオンモール札幌発寒、6月2日(日)にイオンモール札幌平岡にて、PMF修了生を中心に編成したアンサンブルをお招きし、「PMFイオンファミリーコンサート」を開催しました。



【イオンモール札幌平岡のファミリーコンサート】

◆「札幌市クーリングシェルター」へ当社店舗の登録協力

札幌市内にある当社53店舗が7月23日(火)から9月30日(月)までの期間、札幌市より「クーリングシェルター」として指定されました。

また、店舗では「イオンのお店でクールシェア」という涼しい館内への来店を呼びかける取り組みも実施しました。





- ・未来を担う子供達が健やかに育つまちづくり
- ・北海道の食の魅力を生かした活力あふれるまちづくり
- ・健康と環境を大切にする人と環境にやさしいまちづくり
- ・スポーツに親しみ、誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

「観客動員連動型社会貢献プログラム『FOOD COUNTER プロジェクト』」



北海道日本ハムファイターズは、企業理念に掲げる「Sports Community」を実現させるため、地域社会の未来を創造していく SC 活動を行っています。その一環の社会貢献事業「FOOD COUNTER（フード・カウンター）」では、「たんぱく質を、もっと自由に。」の日本ハムグループと共同で、ファイターズ主催試合にご来場をいただいた観客動員数に 1 円を乗じた金額分の日本ハム製品を北海道内に所在する自立援助ホームへ食品支援しております。なお、本事業は 2016 年より実施しております。

2024 年シーズンのエスコンフィールド HOKKAIDO は、1 試合平均 28,834 人、年間の観客動員数は 207 万 5,734 人となり 207 万 5,734 円分の日本ハム製品を北海道内の自立援助ホーム 24 施設（うち札幌市内 10 施設）に食品支援いたしました。2016 年シーズンからの累計では、14,165,914 円分の食品支援となります。



※2024 年支援先

北海道内の自立援助ホーム ：24 施設
（うち札幌市内は 10 施設）



「小学校家庭教育学級『ウインナーの飾り切り』教室」



例年開催のフリースクール向けの『飾り切り教室』『手作りウインナー教室』の本年開催が、12月以降となりますので、今報告につきましては、平行して開催している各小学校家庭教育学級で実施している『ウインナーの飾り切り教室』についてご報告させていただきます。

幼児期から小学校にかけて五感をフル回転させて調理体験する事はお子様の「食育」の基礎をつくる上で欠かせない体験となります。又、親子・ご学友と一緒に体験する事により、驚きや発見を共有し、より深い学びの場とする事が出来ます。

「食育」を語る上で包丁に代表される調理器具等の「道具」は欠かす事の出来ない重要な要素のひとつです。その「包丁」も使い方を誤れば、怪我の原因となるなど正しい知識と技術は不可欠です。この体験の機会を通して、正しい包丁の使い方を学んでいただきます。

■7月5日〔金〕・9日〔火〕札幌小学校 1年生〔児童35名〕・2年生〔児童35名〕



■8月22日〔木〕元町北小学校らべんだー倶楽部〔児童19名、保護者14名〕



他に7月4日〔木〕藤野南小学校おひさま学級〔16名〕、7月24日〔水〕東野幌小学校つくし学級〔16名〕でも同様の取り組み実施いたしました。

今年度のフリースクールでの食育取り組みは、12月13日〔金〕、1月20日〔月〕を予定しています。

LAWSON

- ・脱炭素社会の実現を目指した地球環境を大切にするまちづくり
- ・地域社会に思いやりをもったまちづくり
- ・身近な暮らしの安全・安心に取り組むまちづくり
- ・次世代の子どもたちの育成を応援するまちづくり

「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします」

これがローソングループのグループ理念です。私たちは創業以来、社会環境の変化に対応し、お客様のニーズにお応えしながら、地域に密着した取り組みを進めてまいりました。スローガン「マチの“ほっと”ステーション」の実現に向け、グループに関わる全員がそれぞれの業務で「圧倒的な美味しさ」、「人への優しさ」、「地球(マチ)への優しさ」の“3つの約束”をもとに、一つひとつの課題に取り組んでいます。

■社会福祉法人との協力で障がいのあるアーティストのデザインをパッケージに採用

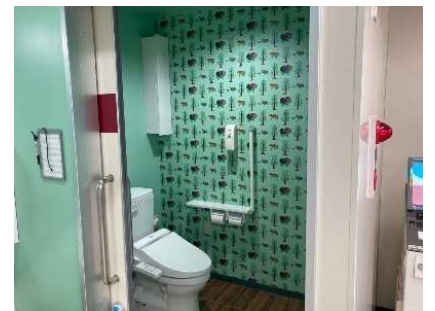
障がいのある方にも活躍頂きたいとの想いから、牛乳を使用する商品パッケージで使う牛の絵をデザインして頂くこととなりました。商品開発と並行して数案のデザイン案を頂き、選考を経てパッケージ化しました。

今後もローソンは、関連する企業や団体とのパートナーシップなどにより、“みんなと暮らすマチ”を幸せにするための取り組みを進めてまいります。

(写真:令和6年8月に発売された商品のパッケージで牛のデザイン提供 社会福祉法人とともに福祉会)

また札幌市内の2店舗(ローソン北20条東店・ローソン北26条東店)で、障がいのあるアーティストのデザインをアートトイレとして展開しています。ローソンはいつでも気軽にトイレを利用したいというお客様の声を受け1997年にコンビニエンスストアチェーンで初めてトイレを開放しました。難病などで常にトイレの心配をされている方などにも安心してお使いいただけるよう、アートトイレの取り組みを通じて、コンビニトイレについてお客様に考えていただく機会に繋げていきたいと考えています。

(写真:ローソン札幌北20条東店アートトイレ内部)



■市立札幌病院と食物繊維を摂取できるスイーツを共同開発

札幌市が実施した「令和4年札幌市健康・栄養調査」によると半数以上の方が一日の食物繊維摂取量が摂取目標値に満たないことがわかりました。食物繊維を気軽に摂取できる商品を提供したいとの想いから「さっぽろウェルネスプロジェクト」の一環として市立札幌病院とローソンの共同で商品開発を行いました。今後も健康志向の商品発売を通じて、皆さまの健康サポートを目指してまいります。

(写真:令和6年2月に発売した商品 左 食物繊維が摂れるスイートパテト 右 食物繊維が摂れるみたらし団子)



■支援を必要とする方への商品寄贈

ローソンでは食品ロス削減に繋がる社内でのフードドライブ活動等、商品を寄贈する取り組みを進めています。その一環として札幌市内でもフードバンク団体に食品・日用品など支援の品を定期的にお届けしています。これらの品はひとり親家庭など支援を必要とする方々の生活支援となるほか、そうした方々が社会との繋がりを感じて頂く役割も担っています。

(写真:NPO法人フードバンク イコロさっぽろへの寄贈 令和6年6月)



■脱炭素社会の実現に向けた取り組み 募金を活用した緑化事業

ローソンでは脱炭素社会の実現に向けて、省エネ機器の導入や物流の効率化などサプライチェーン全体での二酸化炭素排出量削減に努めています。「ローソングループ“マチの幸せ”募金」の一部は、「ローソン緑の募金」として、公益社団法人国土緑化推進機構を通じて学校緑化事業やボランティア団体が実施する森林整備活動などに活用されています。

これまで札幌市内の小中学校8校での学校緑化事業と17件の森林整備活動を行いました。

(写真:市立和光小学校での完成式典の様子 令和6年9月)



また北海道のローソンでは、建材に木材の使用を進めています。特に札幌市内では、北海道産木材を使用した店舗が3店舗あります。木材は成長の過程で二酸化炭素を吸収しながら成長する持続可能な資源であり林業の活性化も期待されます。

(写真:北海道産木材を使用したローソン札幌平岡杜のみち店)



■セーフティステーション活動への参加

ローソンでは、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会(JFA)のセーフティステーション活動に積極的に参加し、“安全・安心なまちづくり”への協力や、青少年が育つ環境の健全化への取り組みなどを推進しています。その活動の一環として、特殊詐欺防止への取り組みも進めています。今年は10月現在、札幌市内で6件の感謝状が贈呈されています。

(写真:ローソン札幌厚別中央2条店の感謝状贈呈の様子 令和6年2月)



■学校へ出向いての「出前授業」や「職業体験」受け入れを実施

次世代の育成に繋がる活動として、札幌市内の中学校でローソン社員による「出前授業」を行っています。お申し出のあった学校のニーズに応え、これまで社会人としての体験をお話する授業や、環境やSDGsに関する授業を実施しました。また高等支援学校の生徒さんや支援学級の児童さんを職業体験で受け入れるなど児童生徒さんにお仕事を体験頂く活動を行っています。

(写真:市立札幌豊明高等支援学校での授業の様子 令和6年10月)



■「指差しシート」が「2023年グッドデザイン賞」を受賞

聴覚に障がいのある方の多くは、相手の身振りや口の動きを見て会話を理解されており、コロナ禍でマスクの着用が日常的になったことで、お買い物時の店員とのコミュニケーションに不便を感じられていました。ローソンはそのような不便を解消するため、2022年8月にコンビニエンスストアチェーンとして初めて、レジ袋やカトラリー、レンジでの温めの有無を指差しで確認できる「指差しシート」を全国の店舗のレジカウンターに貼付し、お買い物時のコミュニケーションをサポートしています。

「指差しシート」は2023年10月にグッドデザイン賞を受賞しました。





基本理念

愛と夢溢れるまち札幌の創造

基本方針

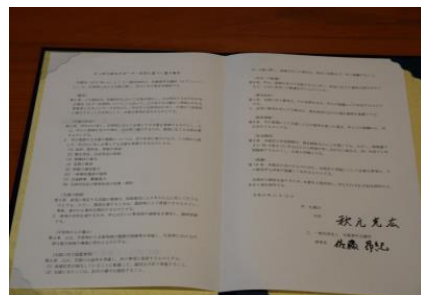
- ・ 理念に共感する人財が躍動する組織の確立
- ・ 次世代へ繋ぐ共創社会構築へ向けた運動の実践
- ・ 次代の人財の養成と共感の波及が織りなす組織価値の確立
- ・ 相互理解を基盤とする積極的かつ広域的な連携の推進
- ・ 時代に即した組織活性化の実現

◆札幌市との「さっぽろ防災サポーター宣言に基づく協力協定」の締結

本年1月の能登半島地震をはじめ、近年の自然災害の増加や規模の拡大が懸念され、大規模災害の発生時には、行政だけの対応には限界があり、いかに素早く民間からの協力を得られるかが極めて重要であることから、関係団体等との間に災害時協力協定締結につなげました。

札幌青年会議所は、札幌市内の企業等、195団体が加盟。本市とはまちづくりパートナーシップ協定を締結しており、このたび「さっぽろ防災サポーター宣言」として、札幌市の災害対応への協力について申出を受けたところ多数の会員を擁し、広範なネットワークを有する青年会議所に対し、災害時に様々な支援を要請できるようにすることで、「札幌市の災害対応力の更なる向上」につなげていきます。

青年会議所のネットワークにより、既存の協定の隙間になってしまうような、様々な分野の支援の要請が可能災害対策において人員の不足が生じている場合に、一定規模の人的応援を速やかに受けることが可能になります。



◆札幌市全10区による「ベビーファースト宣言」

札幌青年会議所が取り組んでいるベビーファースト運動を周知するとともに、ベビーファースト宣言企業の取り組みを紹介することにより、ベビーファースト運動を市民に更に浸透させ、地域社会全体が子どもを産み育てやすい社会を目指しました。また、札幌市内全10区の市長の皆様へベビーファースト宣言を頂き、各区でのベビーファースト運動の取り組みの方向性を伺い、札幌市全体で引き続き子どもを産み育てやすいまちに近づけることが出来ました。





基本理念

愛と夢溢れるまち札幌の創造

基本方針

- ・ 理念に共感する人財が躍動する組織の確立
- ・ 次世代へ繋ぐ共創社会構築へ向けた運動の実践
- ・ 次代の人財の養成と共感の波及が織りなす組織価値の確立
- ・ 相互理解を基盤とする積極的かつ広域的な連携の推進
- ・ 時代に即した組織活性化の実現

◆ NEXT GENERATION ACADEMY

若者の選挙における投票率の低さを背景として、高校生を対象とした主権者教育事業を実施しました。身近な課題を抽出し、解決方法を考えることで、社会課題の当事者意識を醸成し、その先に政治参画意識が芽生えたと仮定して全3回の「NEXT GENERATION ACADEMY」を開催しました。「NEXT GENERATION FORUM」では、カナモトホールにて政策を発表する機会を設け投票を行うことで、行動や発信することが他者に影響を与えることができるということを実感していただきました。また、「NEXT GENERATION FORUM」にて優勝したチームの政策を、札幌市秋元市長に報告し、評価を受けることで、事業に参加した学生の政治的有効性感覚を向上しました。



NEXT GENERATION ACADEMY

2024 開催要項

本事業は、若者の選挙における投票率の低さを背景として、高校生を対象とした主権者教育事業を実施します。身近な課題を抽出し、解決方法を考えることで、社会課題の当事者意識を醸成し、その先に政治参画意識が芽生えたと仮定して全3回の「NEXT GENERATION ACADEMY」を開催します。「NEXT GENERATION FORUM」では、カナモトホールにて政策を発表する機会を設け投票を行うことで、行動や発信することが他者に影響を与えることができるということを実感していただきます。また、「NEXT GENERATION FORUM」にて優勝したチームの政策を、札幌市秋元市長に報告し、評価を受けることで、事業に参加した学生の政治的有効性感覚を向上します。

第1回 NEXT GENERATION ACADEMY	第2回 NEXT GENERATION ACADEMY
6月30日 ① 13:00~16:00 会場 札幌市立大学 大ホール	7月28日 ① 13:00~16:00 会場 札幌市立大学 大ホール
第3回 NEXT GENERATION ACADEMY 8月11日 ① 13:00~16:00 会場 札幌市立大学 大ホール	NEXT GENERATION FORUM 9月1日 ① 18:30~20:30 会場 札幌市立大学 大ホール
対象 札幌市内高校1年生~3年生 参加費 無料 参加条件 4月24日(金)~5月17日(金)に開催される「NEXT GENERATION ACADEMY」第1回~第3回に参加し、各回の課題を提出した学生	参加人数 30名(定員)以内(各校10名以内) 参加費 参加費無料 抽選 抽選 抽選結果 抽選結果は、抽選結果発表会にて発表します。

札幌市立大学 大ホール

抽選結果発表会

抽選結果発表会は、抽選結果発表会にて発表します。

株式会社セコマ 株式会社セイコーフレッシュフーズ・株式会社北燦食品

平成 23 年 7 月 26 日 締結 平成 28 年 3 月 8 日 改定



- ・持続可能な社会を実現するために環境に配慮したまちづくり
- ・地域との連携を深めた活気あふれるまちづくり
- ・障がい者の就労を支援するまちづくり
- ・次世代の子どもたちの成長を応援するまちづくり
- ・地域の笑顔を守る安心・安全なまちづくり

◆「さぼーとほっと基金」への寄附◆

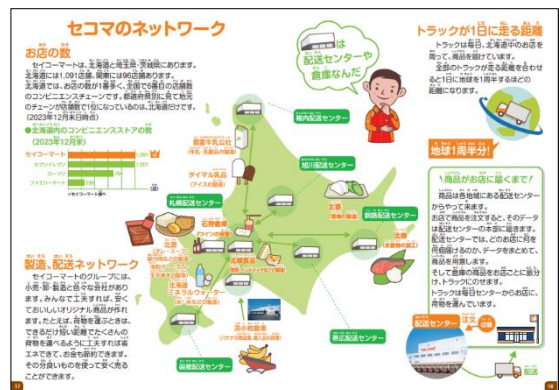
「さっぽろまちづくりパートナー協定」に基づき、さぼーとほっと基金を利用した市民まちづくり活動団体への支援を行うため、2023 年 12 月に 100 万円を寄附させていただきました。同基金へは 2024 年で 14 回目の寄附となり、札幌市への寄附の累計は 2,300 万円となりました（2024 年 2 月時点）。2024 年 2 月に札幌市長より感謝状をいただきました。



▲感謝状贈呈式の様子

◆次世代の子どもたちの成長を応援するまちづくり（学校教育への協力）◆

セコマグループでは、青少年育成のために、総合学習に協力しています。セイコーマート店舗を見学して頂く「店舗見学」、セイコーマート店舗で仕事の一部を体験して頂く「職業体験」、本社にてセコマグループの取組をご紹介します「会社訪問」のメニューを設けています。また、公式サイトでも小中学生向けに「セコマキッズパーク」を掲載し、わかりやすく取組を紹介しております。



学校教育で配布しているガイドブックの 1 ページ

【2024 年 年間協力見込み件数】約 100 件

（うち札幌市内協力見込み件数 32 件）

◆自治体の特産品を PR するキャンペーンの実施◆

北海道各地の産品を原料に使用した商品等を購入して応募する売場企画の景品として、各自治体の特産品やふるさと納税返礼品を採用。応募用紙や、特設サイトの告知媒体で PR しました。

【企画概要】

- ・実施期間：2024 年 7 月 29 日（月）～8 月 25 日（日）
- ・参加自治体：札幌市含め 32 自治体



◆持続可能な社会を実現するために環境に配慮したまちづくり◆

セコマグループはサプライチェーンを生かし、環境に配慮した様々な取り組みを行っています。

① お客様参加型リサイクル

お客様参加型のリサイクルとして、指定枚数の紙パック・たまごパック・ヨーグルトパックを店頭にお持ち頂くと紙パックを原料としてリサイクルされた再生紙 BOX ティッシュを 1 箱プレゼントしています。

また店頭で古紙・ダンボールも回収しリサイクルしています。



▲お客様参加型リサイクル対象商品例

【2023 年実績】紙パック約 282 トン／たまごパック約 17 トン／

古紙・ダンボール約 6,993 トン

ヨーグルトパック 約 450kg ※ヨーグルトパックの回収は 2023 年 7 月より開始。

② 特定プラスチック使用製品の見直し◆

2022 年 4 月に施行された「プラスチック資源循環促進法」に基づき、お客様に提供するカトラリー類の石油由来プラスチック使用量削減に取り組んでいます。店頭 POP や店内放送で、お客様に使用削減についてご協力をお願いしています。

また 2022 年よりカトラリーを見直し、軽量化タイプのスプーン・先割れスプーン・フォークの導入、アイテム数の見直し、バイオマスプラスチックや木製などの素材を使用した製品への変更等を実施しました。2023 年 11 月に、HOT CHEF のプラスチックフォークを袋入つまようじに変更しました。



▲切替前のプラスチックフォーク(左)と切替後のつまようじ(右)

このような取り組みにより、2023 年に提供したカトラリー類に使用している石油由来プラスチックの重量は 2021 年対比 92.6%となり、前年より 7.4%削減することができました。

③ 使用済み食用油の活用拡大

グループのバイオディーゼル燃料（以下 BDF）製造会社、白老油脂を通じて使用済食用油の利活用を推進しています。2023 年は約 160 万 L の使用済食用油を回収し、グループ内外でエネルギーとして活用しています。

グループ内では、食品製造工場における惣菜調理、HOT CHEF ではカツやフライドチキンの調理で発生する使用済食用油を回収しています。回収した油は、道内で運営する農場のハウス栽培の暖房用燃料に、物流センターでは商品を入れるトートの洗浄で使用する蒸気を作るボイラーの燃料に活用しています。

また、回収した使用済食用油を原料として白老油脂にて BDF を製造しています。BDF はグループのトラック 28 台の燃料に使用しているほか、グループ外にも提供しご活用いただいております。2024 年 7 月には、新千歳空港での空港内作業車両での BDF 通年運用を開始しました。





平成23年11月8日 締結



社会貢献活動を
COOP CYCLで
紹介しています。

- ・豊かな暮らしと持続可能な環境保全型のまちづくり
- ・無限の可能性が広がる子どもたちの豊かな心を育てるまちづくり
- ・暮らしの安心を願い助け合いの和を広げていくまちづくり
- ・地域で取り組むボランティアを大切にするまちづくり

1. 子育て支援

a. ファーストチャイルドボックス & コープチャイルドボックス

2018年4月から、第1子誕生予定の方へ「ファーストチャイルドボックス」を贈る取組を始めました。ベビーケアアイテムやベビー服など、子育てに欠かせないものを初めて出産される方に贈る子育て支援であり、フィンランドで実施されている「母親手当」をモデルに北海道で実現したものです。現在までに3万人を超える方にお申込みいただいております。また、2019年10月から組合員さんのリクエストにお応えして第2子以降のご出産の方への贈り物「コープチャイルドボックス」の取組も開始しています。



ファーストチャイルドボックス



コープチャイルドボックス

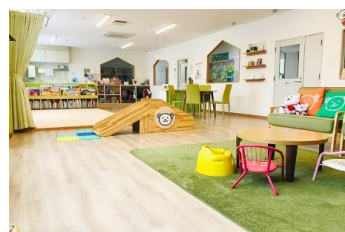
b. えほんがトドック

2010年度から、読み聞かせを通じた親子のふれあいを目的として、1～2歳のお子さまがいる子育て世帯を対象に絵本をお届けしており、現在は8冊の本をプレゼントしています。また、絵本のおもしろさをもっと知っていただき、よみかせができる人を増やすため「えほんがトドックよみかせ隊認定講座」のほか、道内の保育園・幼稚園、子育てセンターを訪問し、絵本の楽しさを知ってもらう「えほんわくわくキャラバン」も実施しています。



c. トドックステーション

コープさっぽろのお店や宅配センター内に地域のコミュニティスペースを設置しています。単なるスペース提供だけではなく、フリーマーケットや絵本の読み聞かせ、料理教室の開催など地域のコミュニティスペースとして、みんながつながる「地域ひろば」を目指しています。



2. 医療連携事業

2023年に医療連携事業部を設置し、健診車や医師、看護師など医療スタッフを確保して、2024年春から内部職員向けの巡回健診の自前化をスタートしました。道内の特定健診受診率は全国最下位であり、地域の巡回健診を通じて受診率の向上を目指すとともに、早期発見、早期治療につなげることで医療費や社会保障費の削減を目指しています。今後は自治体との連携により、地域住民の健康寿命の延伸に貢献していきます。



3. 移動販売事業と夕食宅配

2010年度から買い物が困難な地域のくらしを支える移動販売車事業を開始しました。コープさっぽろの店舗から約1,000品目の商品を積み、毎週決まった曜日、コース、時間に運行しています。現在は全道137市町村を96台の車両が走り、約12,000世帯の方に利用いただいています。札幌市では約20か所の高齢者施設へも訪問しています。一部地域では、自治体やJA、社会福祉協議会と連携して地域における買い物困難者対策に取り組んでいます。

また、夕食宅配は専属の管理栄養士が監修したおいしい手作り料理のお届けと見守りを行っています。現在196台の車両で全道約16,788人に年間197万食をお届けしています。



4. 高齢者見守り活動

宅配システム「トドック」や配食サービスなどで職員が組合員のお宅にお伺いする機会を活用し、高齢者の安否確認など見守り活動を行っています。2013年度からは「遠くに住んでいる家族に毎週コープの商品を届けてあげたい」という組合員の声をもとに「見守りトドック」を開始しました。注文者とは異なる方に商品をお届けすることができ、同時にお届け先の状況を注文者に毎週連絡する「電話連絡サービス」を加え、見守り活動を強化させています。

また、緊急の際の連絡体制をスムーズに行えるように各市町村と「高齢者見守り協定」を176市町村と締結し、年間約160件の見守り実績があります。

5. 北海道SDGs推進プラットフォーム

2019年7月に、北海道で中核的に「持続可能な開発目標(SDGs)」を推進することを目的として「北海道SDGs推進プラットフォーム」を設立しました。このプラットフォームに17団体からなるSDGs推進委員会を設置し、プラットフォーム会員に向けたSDGs研究会を定期開催しております。札幌市からもSDGs推進委員に就任していただいております。毎年2回、先進事例報告の場としてSDGs研究会を開催し、SDGs推進の底上げに寄与しています。

また、2021年から「Hokkaido海のクリーンアップ大作戦！」と題して道内の海岸清掃を実施しており、今年は11,416名の方に参加いただき、全道47カ所で海岸清掃を行いました。10月には500名以上の方に参加いただき、大通公園で「街のクリーンアップ大作戦」も実施しています。



雪印メグミルク株式会社

平成 24 年 3 月 7 日 締結



- ・食の大切さと尊さを伝えるまちづくり
- ・四季の変化を感じた、スポーツを通じたまちづくり
- ・歴史を重んじた地域連携のまちづくり
- ・さっぽろの魅力を伝えるまちづくり

「雪印メグミルクスポーツ振興寄付金」に伴う子ども用ヘルメットとゼッケンを贈呈しました

弊社は2021年から2030年の10年間、「雪印メグミルクスポーツ振興寄付金」を札幌市へ寄付することとしていますが、7月11日に札幌市役所において秋元市長にその一部の寄付金を利用した子ども用ヘルメットとゼッケンを贈呈しました。



「キッズスポーツ体験会」を開催しました（雪印メグミルクスポーツ振興寄付金事業）

2月25日、札幌市内の小学1～3年生を対象に300名の応募の中から選ばれた80名が、「キッズスポーツ体験会」を弊社スキー部選手と一緒に実施しました。

「少しだけジャンプ体験コーナー」では、選手のデモンストレーションジャンプを子供たちは真剣な表情で見ながら歓声を上げ、参加した子供たちも「ジャンプ、テレマーク着地体験」など選手と共に楽しくスポーツを体験しました。

また、保護者を対象として開催した「食育講話」では、管理栄養士より「食事の大切さ」と「栄養バランス」について講話しました。



さっぽろウェルネスイベント in イオンモール札幌平岡で骨の健康度測定会を開催しました

8月17日～18日に、イオン北海道と札幌市が共催する「さっぽろウェルネスイベント」に参加し、骨の健康度測定会を実施しました。

協定の連携企業であるイオン北海道様からお声がけいただき、ブースを出展し、想定をはるかに超える約700名(2日間)のお客様が来場され、骨の健康度測定をされました。



札幌市「NoMaps WELLNESS」イベントに参加しました

9月13日～15日までの3日間、札幌駅地下歩行空間(チ・カ・ホ)にて、ウェルネス推進に資するプロダクトやサービスやステージセッションなどを展開し、「めんどくさいから、始めよう。」をテーマにNoMaps WELLNESS(主催札幌市)が開催され、弊社も参加いたしました。

弊社からは「勝源神社」を出張させ、身体と心の健康増進を勝源神社の前で祈願し「ソフトカツゲン」の試飲会を実施いたしました。





- ・文化、芸術活動等を通じたまちづくり
- ・環境保全活動を通じたまちづくり
- ・食と健康を通じたまちづくり
- ・子どもたちの成長を応援するまちづくり

1 「そらのひろば ステラ9」の開場

札幌ステラプレイスセンター9階屋上の「そらのひろば ステラ9」(2018年度に運用開始)は、4月26日(金)～10月31日(木)の期間開場しました。地域のコミュニティスペースとして、休憩スペースをはじめ、毎日お子様が遊べるコンテンツも設置し、2024年度は約6万人が来場されました。

6月には「SAPPORO フラワーカーペット」と連携した「JRタワーのフラワーカーペット」を開催、夏休みのイベントには、未就学児から小学生向けに、SDGs 人力発電トレインやシャボン玉コーナーのほか動物型ミストシャワーを設置、熱中症対策をしながら親子で体を動かして楽しめるように工夫し、夏休みイベントには約1万人が来場されました。また、10月にはハロウィンイベントを実施、12月にはクリスマスのライトアップを実施予定です。



2 「ハッピーフラッグ 2024」の開催

JRタワーのロゴマークをかたどった黄色いフラッグに動物の絵を描くアートイベント「ハッピーフラッグ 2024」は、今年も札幌市円山動物園との共同事業によって開催されました(今回で18回目)。提出していただいた1,675点の作品は、3月6日～3月31日までの期間、JRタワー1階東・西コンコース、地下1階東・西通路の4箇所に展示され、たくさんの動物たちが、行き交うお客様の目を和ませました。

小学生以下の作品を対象に学年層別にそれぞれ優秀作品を選出し、3月16日に実施した表彰式で各部門の賞が授与されています。



3 その他の取り組み

(1) アート作品「コインズ」にご支援いただいた募金の寄付

JRタワー開業時の2003年に、JRタワーアート計画「世界にひろがる北の窓」の国際コンペで選出された作品。野生動物保護の社会的問題をアートで解決したい作者の願いが込められており、アート(シマフクロウ・ゼニガタアザラシ・エゾヒグマ)にコインを投入して募金していただくものです。

2024年3月、168千円を公益財団法人 北海道新聞野生生物基金に寄付。(27回目)

2024年9月、191千円を札幌市円山動物園に寄付。(17回目)

(2)「児童養護施設」への寄贈

3月に市内児童養護施設等の367名へ、T'CAFE ソフトドリンク付きの招待券を寄贈。

(今回で21回目)

(3)「夏休みJRタワー子ども見学会」の開催

2024年8月「夏休みJRタワー子ども見学会」を開催。小学校を經由して配布している環境教育情報紙「エコチル」(フリーペーパー)の小学校・札幌版にて告知し、小学校5年生から6年生の20名を募集。「JRタワーの歴史と秘密のクイズ」「JRタワー内施設見学」や札幌市様のご協力でT38(展望室)からの「まちなみ見学」やホテル日航札幌様のご協力による「食事マナー教室」を実施いたしました。

(4)パシフィック・ミュージック・フェスティバル 2024(PMF)への協賛

JRタワー内デジタルサイネージ5箇所、PMFの開催情報を発信。

(6月27日(木)~7月10日(水)14日間実施)

(5)「サツエキテラス」の開催

札幌駅南口駅前広場に無料で開放する憩いの広場をオープン。札幌市環境局都市推進部様ご協力のもと、「観光中も出来るSDGsアクション」ステッカーを設置して、利用される方にSDGsを訴求。また芝生エリアを設置して、より快適にくつろげる空間を提供しました。

7月4日(木)~7月31日(水)までオープンし、約6,000名以上が利用。(今回で9回目)

(6)「サツエキイルミネーション」の開催

札幌駅南口駅前広場を冬季間イルミネーションで装飾。昨年も人気だった「光の花」や樹木の装飾、フォトスポットなどのコンテンツを実施します。

今期は、2024年11月22日(金)~2025年3月14日(金)の期間で開催。(今回で9回目)

(7)「カルチャーマガジン JR TOWER GRAPHY」の発刊

「JR TOWER GRAPHY」は、この街と人、文化を独自の視点で切り取り採集するように紹介していくカルチャーマガジンです。JRタワーから札幌の街の魅力を発信することを目的に、3月・7月に発行。JRタワーカード会員への送付や、JRタワー館内、道内美術館やギャラリー、学校等で配布しました。





- ・観光振興を通じたまちづくり
- ・スポーツに親しみ、誰もが生き生きと暮らせるまちづくり
- ・産業振興、人材育成、教育を通じた活力あふれるまちづくり
- ・地域の安全・安心、災害対策を通じたまちづくり
- ・環境に配慮したまちづく

NTT グループの北海道における取組みのご紹介

■ 休日の地域文化クラブ活動（e スポーツ）実証事業の取組



株式会社 NTT e-Sports は設立 4 年目の NTT グループの e スポーツ専担企業です。地域の伴走パートナーとして ICT 技術によって地域のあたらしいカタチを創造してきた私たちは今、e スポーツで地域にあたらしい賑わいを生み出すことにチャレンジしています。その一環として、札幌市教育委員会からの委託により、少子化の中でも将来にわたり子供たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、札幌市の実情に応じた持続可能な地域文化クラブ活動の整備を目指して『札幌市 e スポーツ部活動』を企画・運営いたします。

札幌市立中学校・高校の生徒、各 25 名ずつを対象として地域の e スポーツステークホルダーと連携して令和 6 年 11 月中旬から全 8 回（毎週土曜※年末年始除く）の e スポーツ部活動を開催予定です。e スポーツ部活動を通じて、楽しみながら部員同士でのコミュニケーション・チームワーク・リーダーシップといったヒューマンスキルと e スポーツ（ゲーム）との正しい向き合い方を学ぶだけでなく、国内 e スポーツシーンで活躍するプロを特別講師として招き、ここでしかできない特別な体験を提供してまいります。

8日間のカリキュラム



全 8 回

2024年 11月 16(土)・23(土) 12月 7(土)・14(土)・21(土)
2025年 1月 11(土)・18(土)・25(土)

午前 9:10～10:30 募集数25名 ※応募多数の場合は抽選となります。

※4日目の例

1日の流れ(1.5h-2.0h)

- 1 出欠確認・開始の挨拶**
 - ・出席者、欠席者の確認を行う
 - ・部活動として、開始の礼を行う
- 2 ストレッチ・【講義】上達に大事なマインド**
 - ・授業開始前に、準備体操とアドバイスをを行う
- 3 eスポーツトレーニング**
 - ・設定された目標を元にカリキュラムやコーチが指示した内容をベースに練習・指導を実施
- 4 1日の振り返り**
 - ・本日の練習内容を振り返り、次に何をどうするべきかという課題と対策を明確化する

■道内企業のビジネス活性化



株式会社 NTT 東日本-北海道、北海道電力株式会社、株式会社北海道銀行、パーソルホールディングス株式会社、NoMaps 事務局は、道内企業の皆さまにとってより一層身近で便利に感じていただけるコミュニティにすべく、2023 年 6 月に「北海道 地域応援プラットフォーム」から「HOP (Hokkaido Open Platform)」に名称を変更しリニューアル致しました。NoMaps 事務局との協働運営により、HOP に NoMaps が持つ“多様かつ多角的な人材・情報が活発に行き交うコミュニティ”の強みが加わり、地域や道内経済の活性化への貢献に意欲的な HOP 参加者に対して、新たなつながりの機会を提供することが可能となります。今後も HOP は、参加者同士の交流を促進し、皆さまのセレンディピティな瞬間を提供することで、ビジネスやキャリアの発展をサポートしてまいります。

地域課題解決に向けた取組み - 地域コミュニティ形成 -

- 道内企業のビジネス活性化を目指す「Hokkaido Open Platform(HOP)」を運営
- 行政の力・民間の力・スタートアップをはじめとした若い力と課題解決に取り組む

地域課題解決の
更なる拡大

HOP参加者: **886名**

ベンチャー・個人・学生 **54%**
行政・大企業 **46%**
※2024.9.27時点



■ HOPの役割



■ HOP開催のリアルイベント



北海道みんなでうみだせ共創ミートアップ
トークセッションやワークショップを通じ
共創のきっかけや新たなヒントを得る場



「地域課題×未来技術」マッチング事例発表会
民間事業者の持つ未来技術と市町村の出会い
による地域課題解決事例報告



■まなびポケットで実現する「学びのデータ利活用」



文部科学省 CBT システム (MEXCBT) をはじめ、各種学習教材への児童・生徒の学びの入り口となる学習 e ポータルとして提供している「まなびポケット」。サービス提供開始から8年を迎え、全国では 13,000 校以上、550 万人以上の児童・生徒、教職員、保護者の方々にご利用頂いています。北海道では 179 自治体中 93 自治体、900 校以上でご利用いただいております。(2024 年 10 月現在) 現在は GIGA 第二期に向けての検討が各自治体で進んでおり、弊社でご用意している「GIGA スクールパック」に含まれる新機能「AAR ポータル」のご紹介をさせていただきます。

AAR ポータルでは「子ども達自身でのデータ活用」という理念のもと時間割を取り込み、子ども達自身が授業で学んだことや理解度を登録、振り返りを行うことで次の学習へと繋げていくことができます。今後はデジタル教材の学習成果の自動連携機能や保護者にお子さんの学習状況を個別にレポートする機能開発も予定しています。

▼ AARポータル ～蓄積されたデータの活用イメージ～



OECD 2030 Educationが提唱する「AARサイクル」をデータで支援



- ・雇用や産業の活性化につなげるまちづくり
- ・誰もが暮らしやすい安全で安心なまちづくり
- ・未来の社会をつくる子どもたちや青少年を支えるまちづくり
- ・環境に配慮し、緑化を進めるまちづくり

【まちづくり、未来の社会をつくる子供達への関わり】 未来を担う子供たちへ

・出張授業の実施

未来を担う子どもたちに将来を考えてもらうために市内中学校、高校で出張授業を実施。弊社のSDGsの取り組みを通じて環境について自分事として捉えてもらう。職業講話を通じて自分が社会に出る時のイメージを持ってもらう。未来世代との双方向コミュニケーションをし、未来に向けた取組を実施しています。



必要な支援が届く社会へ

・社会福祉協議会への寄贈

札幌地区事務所にてフードドライブを実施。集まった食品は札幌社会福祉協議会へ寄贈。改装時閉店などで発生した商品についても寄贈を継続。

・児童養護施設への寄贈

地域限定販促(地域フェア)の対象商品の売上の一部を使い児童養護施設へ7プレミアムのお菓子の寄贈を実施。(全道27箇所、うち札幌市内6箇所)



【誰もが暮らしやすい安全で安心なまちづくり】

地域の安全安心拠点として

・防犯訓練の実施

誰もが暮らしやすいまちづくりを目指し市内各警察署と連携し防犯訓練を実施。強盗防犯訓練、特殊詐欺防止訓練、カラーボール投擲訓練など実践的な訓練を実施。訓練を通して有事の際の対応を学び防犯意識を高め抑止効果につなげています。地域のセーフティステーションの拠点として安全安心なまちづくりに地域社会と一緒に取り組んでまいります。



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 札幌支店

平成29年2月22日締結



まだ誰も知らない安心を、ともに。

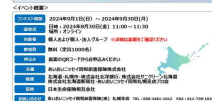
- ・災害につよいまちづくり
- ・地域の安全・安心と自然環境保護を通じた人と環境にやさしいまちづくり
- ・誰もが安全・安心にらせるまちづくり
- ・輝く未来の子どもたちを応援するまちづくり

～テレマティクス技術の活用～

「ゼロカーボン×エコドライブ」コンテストの実施

9月1日から1か月間、約1000個のテレマタグを使用し、コンテストを実施。弊社のテレマティクス技術を活用し、参加者の走行データを分析。

- 速度超過や急ブレーキ等の危険挙動箇所を地図上にマッピングしたデータを提供する予定です。今後の安全運転対策にご活用いただきたいと考えています。
- また、CO₂排出量や削減量を「見える化」し、「ゼロカーボン」への意識を高めることで、「安心・安全なまちづくり」に貢献してまいります。



テレマティクス技術を活用した交通安全マップの機能

- ＜交通安全マップについて＞
- ・イベントによる走行データに基づき、危険挙動箇所を地図上にマッピングして提供します。
- ・急ブレーキ多発地点など危険箇所を把握し、道路環境を改善するための交通安全対策への活用が可能です。



イベントで収集した多様な走行データに基づき、速度超過や急ブレーキ、スマホ操作等危険挙動箇所をマッピング

急ブレーキ多発地点など危険箇所を把握し、道路環境を改善するなどの交通安全対策への活用が可能

テレマタグイベントにおける「安全運転によるCO₂削減量」レポート

算定対象期間：2024年9月1日～2024年9月30日
算定対象車両：全641台 ※タグ配布総数（同一車両を使用しているケース有）

● 走行距離 ... 470471.84 km	● 安全運転による燃費節約量 ... 4221.07L
● 燃費消費量 ... 30769.58 L	● 安全運転によるCO ₂ 削減量 ... 9800.14 kg-CO ₂
● CO ₂ 排出量 ... 71470.43 kg	

イベント参加者による、全走行距離は地球約10周分に相当する47万キロ。

安全運転によるCO₂削減量は、「杉の木1113本」に相当する。約9800Kg-CO₂※となりました。

※当社独自のアルゴリズムによります

サツドラホールディングス株式会社

平成 29 年（2017 年）6 月 14 日 締結



- ・ 健康づくりを通じたまちづくり
- ・ 災害に強い安全・安心なまちづくり
- ・ 雇用や産業の活性化につなげるまちづくり
- ・ 身近な暮らしの安全・安心に取り組むまちづくり

◆札幌市とウェルネスパートナー協定締結

サツドラホールディングスと札幌市は、2024年7月8日（月）に、市民のウェルネス（健康寿命延伸）を目的とした共同事業を推進するための協定を締結しました。

今年度は、「Walking Quest（ロゲイニング）」「SoupCurry Quest」「サツドラFES2024」などとの連携をし、イベントを通して健康行動のキッカケづくりを実施しています。

＜事例の紹介＞



「Walking Quest（ロゲイニング）」（8月4日～9月1日）
ウォーキングイベント及び健康相談、スポーツ体験イベントを実施。



サツドラ FES 2024（9月21日・22日）
札幌市と共同で、体組成計などの設置や管理栄養士による栄養健康相談を実施。



「SoupCurry Quest」（9月29日）
さとらんど 4 KM の周遊コースを歩きキーワードを探し出し、スープカレーの具材を集めて運動と食育を同時に行うイベントを実施

◆「ウェルネス推進と企業への期待」、秋元市長と富山が対談

7月8日（月）、秋元札幌市長と弊社社長の富山が日本経済新聞社主催の第424回札幌日経懇話会に登壇。

札幌市からはウェルネス政策の詳細説明があり、それに対し企業としてどのように社内に浸透させるかの事例発表をしました。



◆札幌市内の小学校に掃除用商品を寄贈

3月13日（水）、昨年に引き続きサツドラとコープさっぽろ、花王グループカスタマーマーケティングの3社では、札幌市内の小学校200校へ掃除用商品を寄贈しました。



日本郵便株式会社 札幌市内郵便局

平成 29 年 10 月 26 日 締結



- ・ 市民に寄り添い、触れ合いあふれる豊かなまちづくり
- ・ 身近な地域の安心・安全を支えるまちづくり
- ・ 災害に備える安心なまちづくり
- ・ 子どもの健やかな成長を支えるまちづくり

1 市民に寄り添い、触れ合いあふれる豊かなまちづくり

(1) 認知症サポーター養成講座の開催

社員を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の正しい知識や適切な対応を身につけ、認知症の方やご家族の皆さまに安心して郵便局をご利用いただけるよう取り組んでいます。



(2) 札幌市敬老優待乗車証(敬老パス)のチャージ事務

満 70 歳以上の札幌市民を対象に郵便局窓口において負担金を納入いただき、敬老優待乗車証にチャージを行う受託事務を行っています。



(3) 家庭用ごみ袋の無料交付

2歳未満の乳幼児がいる世帯を対象に札幌市が指定した郵便局窓口で、「引換券」と引き換えに「家庭用ごみ袋」を交付する受託事務を行っています。

(4) 札幌市イベント情報冊子、その他周知ポスター等を札幌市内郵便局に設置

札幌市内郵便局に、札幌市内各地域のイベント情報をまとめた冊子を設置しています。その他、市民の皆様へ周知するポスターやリーフレットの設置協力を行っています。

イベント情報冊子



「民生委員・児童委員」ポスター



「市税の納期内納付」推進ポスター



札幌白石郵便局の無人販売



(5) 郵便局ロビーでの無人販売

一部の郵便局では、ロビーの空きスペースに商品棚を設置し、地元で生産された農作物や日用品などの無人販売を行い、地域内経済循環の促進に貢献しています。

(6) 郵政グループ社員による「全道一斉クリーンアップ作戦」の実施

毎年6月第1週目の土・日曜日をメインデーとし、札幌市内各地において、郵便局周辺、公園、河川敷等の公共の場所を中心に清掃しています。今年度、北海道支社では「北海道芸術花火」後のゴミ拾いに 参加しました。



(7) JP フラワープロジェクト活動の実施

「さっぽろ花と緑のネットワーク」に賛同し、地域貢献施策の一環として、日本郵政グループ札幌ビル周辺の「花と緑」を増やすボランティア活動を実施し、道路景観の向上及び住みよい街づくりに協力しています。



2 身近な地域の安心・安全を支えるまちづくり

(1) 道路損傷、不法投棄を発見した場合の情報提供

業務中、道路走行に支障をきたす状態を発見した場合、また不法投棄と思われる廃棄物を発見した場合の情報提供及び車両へ不法投棄防止に関するステッカーを貼付し周知活動を行っています。



(2) 砂まき活動の実施

路面凍結による市民の転倒防止のため、滑り止め材(砂)を郵便局近辺の歩道や横断歩道に散布し、地域の安全を支えるまちづくりを実践しています。
※ 例年 12 月～3 月下旬に実施



(3) 「こども 110 番」の実施

郵便局に救助を求めてきた子どもの一時保護や 110 番通報による警察への連絡等の一時的措置をとる避難場所として提供し、子どもに関する事件・事故を未然に防止する取組を支援しています。



(4) 地域見守り活動と「地域見守りサポーター養成研修」の開催

訪問先で配達員等が異変のある高齢者や障がい者を発見した場合に区役所への連絡等の対応を実施するとともに、社員を対象に「地域見守りサポーター」の養成に取り組んでいます。



(5) 子どもの見守り活動と「オレンジリボン地域協力員研修会」の開催

訪問先等において配達員等が、児童虐待が疑われる兆候を発見した場合に「子ども安心ホットライン」へ連絡する対応を実施するとともに、社員を対象に「オレンジリボン地域協力員研修会」を開催しています。

また、2023 年 11 月から「オレンジスマイル 189 ステッカー」の掲出のほか、郵便局窓口社員が推進月間(11 月)中に「オレンジリボン」の着用を行っています。



3 災害に備える安心なまちづくり

災害時における防災協力協定に基づき、災害時の緊急車両等としての車両提供、被災者の避難所開設状況及び避難者リスト等の情報の相互提供のほか、郵便局ネットワークを活用した広報活動を行います。

4 子どもの健やかな成長を支えるまちづくり

(1) 「郵便局見学」「職業体験」の受入及び地域イベント「ミニさっぽろ」への協力

郵便局では学校と連携し郵便局の見学や職業体験の受入れを行っています。

また、札幌市子ども未来局が、10/5・6 に開催した「こどものまちミニさっぽろ 2024」に「ミニさっぽろ郵便局」を出展し、2 日間で 216 名の子どもたちが郵便局のお仕事体験をしました。



(2) 「手紙の書き方体験授業」の取組支援

手紙による子どもたちの心の交流と手紙文化の振興を目的として、お申込みいただいた小・中・高等学校にサポート教材等の無償提供や、出前授業を行っています。本物のハガキを使い、子どもたちに手紙を送る「どきどき感」や、手紙をもらう喜びを体験いただいています。



(3) 公立高等学校に対する金融教育の実施

公立高等学校の授業において、地域の中でのびのびと育つ子どもたちにお金の大切さを伝え、お金との付き合い方を学んでもらうため、金融教育の取組を行っています。



今後も、札幌市とさっぽろまちづくりパートナー協定に基づき、緊密な連携を図り、札幌市の一層の発展と地域の活性化に寄与できるよう取り組んでまいります。

■ さっぽろまちづくりパートナー協定の概要

- 締結日：2018年11月8日
- 協定に関する主な取組：
 - (1) 誰もがすこやかに生活できるまちづくり
 - (2) 市民に寄り添い安全・安心に暮らせるまちづくり
 - (3) 男女が共に自分らしく活躍できるまちづくり
 - (4) 子どもの未来を応援するまちづくり
- その他関連協定：
 - 2021年10月29日、さっぽろ連携中枢都市圏を構成する12市町村と「まちづくりパートナー協定」を締結
 - 2023年8月1日、市民のウェルネス(健康寿命延伸)を推進する「さっぽろウェルネスパートナー協定」を締結



秋元克広札幌市長・佐々木泰執行役員
北海道営業本部長との間で調印

■ パートナー協定に基づくこれまでの取組

- (市民文化局)自転車交通安全への取組み
 - 地域住民の方々へ、自転車交通事故抑止・減少に向けたアンケート活動を実施し、回答結果を集計の上、各自治体様にフィードバックを行った
 - **札幌市提供の自転車交通安全パンフレットを配布**
- (保健福祉局)がん検診受診勧奨への取組み
 - 地域住民の方々へ、がん検診受診率向上に向けたアンケート活動を実施し、終了後、回答結果を集計の上、各自治体様にフィードバックを行う予定
 - **札幌市提供のがん検診の案内リーフレットを配布**
 - 2023年8月「がん対策推進企業アクション*」推進パートナー企業に登録
 - 取組の一環として、札幌市後援の「ピンクリボン in SAPPORO」においてもがん検診受診勧奨を実施
- (市民文化局)ニッセイ文化振興財団『ニッセイ名作シリーズ』無料招待公演
 - 日生劇場で公演する児童向け作品を全国各地で展開
 - 2024年9月、札幌公演にて小学生7154名(97校)を無料招待



1979～ 2007年度	・北海道厚生年金会館で毎年4回程度公演を実施 (累計24.7万名の小学6年生を無料招待)
2023年度	・札幌文化芸術劇場にて9/13～15午前午後2回公演 ＜演目：音楽劇『精霊の守り人』＞ ・さっぽろ連携中枢都市圏の小学3・4年生を無料招待 129校9627名が観劇

○(市民文化局)「クジラ骨格標本」の日本生命札幌ビル内展示

- 小金湯で産出したクジラ化石の復元骨格標本の全身(全長約 14m)を日本生命札幌ビル 1 階ロビーに展示 (2024 年 1 月 20 日～2 月 16 日)

※日本生命札幌ビルでの展示スペース無料貸出受付中



○(市民文化局)消費生活サポーターへのご協力

- 高齢層の消費者トラブルへの啓発活動として、顧客訪問時に市提供の「みまもり通信」ビラを毎月約 1,000 枚配布)



○(建設局)歩行者用砂箱の寄贈

- 札幌市の民間協力による歩行者用砂箱の設置活動に協力(現状、麻生・美香保・北札幌 3 箇所の営業部前に設置)



○(市民文化局)ゼロカーボン×セーフティドライブコンテストの開催(参加者約 1000 名)

- GPS と加速度センサーを内蔵した「テレマタグ」を自動車に設置、運転状況をスコア化することで安全運転を意識し、CO2 排出量削減に繋がった(削減量約 10t)
- 危険運転箇所をマッピングした「交通安全マップ」を市に寄贈し、今後の「ゼロカーボン」「交通安全」の施策に役立てていただく



○(教育委員会)中・高校生向け出前授業

- 当社職員が講師となり、「ライフデザイン」・「万一の備え」等をテーマに「出前授業」を展開

2022年度	・札幌市立平岡中学校 (186名) ・札幌市立東白石中学校 (159名) ※その他市外1校にて実施
2023年度	・札幌市立前田中学校 (178名) ※その他市外1校にて実施
2024年度	・札幌市立福井野中学校 (55名) ※その他市外2校にて実施



○(子ども未来局)「子ども未来文庫」への寄贈

- 札幌市絵本基金「子ども未来文庫」に絵本を寄贈

○(子ども未来局)結婚支援センター作成リーフレットの配布

- 「結婚を望む男女を安心・安全にサポートする」目的で作成されたアプリのプロモーションに協力

○(保健福祉局)企業版ふるさと納税の実施

- 「さっぽろウェルネスプロジェクト」事業に対して寄付を実施

■ その他スポーツを通じた地域振興取組

○(Tリーグ)日本生命レッドエルフのホームゲームを開催

- 2025 年 1 月 4 日(土)5 日(日)の 2 日程で、北ガスアリーナ札幌 46 にて日本生命レッドエルフのホームゲームを開催
- 小学生の無料招待を予定、また試合前のパフォーマンスに市内の団体・学校を推薦(ex.新川高校・吹奏楽部、札幌龍谷学園高校・ダンス部等)



○(Bリーグ)レバンガ北海道とのスポンサー契約

- スポンサー企業として、Bリーグ振興を目的とした顧客向け周知活動を実施
- 2024 年 6 月レバンガの現役選手を招き、札幌市立北野台中学校にて「バスケットボール体験会」および「夢授業」を実施





- ・ 市民の健康づくりを応援するまちづくり
- ・ 札幌市の魅力を発信するまちづくり
- ・ 地域に根ざしたまちづくり
- ・ 女性の活躍と青少年の健全育成に貢献するまちづくり

■ 市民の健康づくりを応援するまちづくり①

SOMPOひまわり生命保険株式会社（以下SOMPOひまわり生命）はウォーキングアプリ「リンククロスアルク」を提供し、札幌市民の健康増進を初めとして札幌市の取組の周知や事業へ協力しています。さっぽろ圏内の観光スポットや見所等を巡る「おすすめ散歩コース」を掲載し、さっぽろ圏の魅力をユーザーへ発信しています。



■ 市民の健康づくりを応援するまちづくり②

SOMPOひまわり生命は札幌市の介護予防センターの方々と連携し、健康イベントへの協力や認知症や糖尿病、介護に関する講座を開催させていただきました。

【白石区の健康イベント】

【手稲区の糖尿病セミナー】



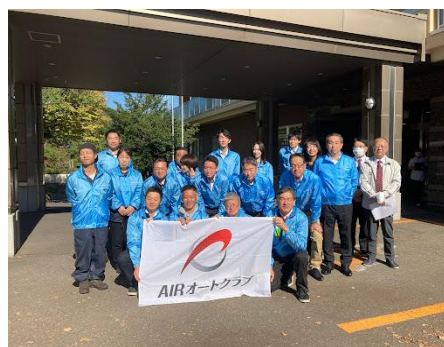
■「黄色いワッペン」贈呈式

損保ジャパンは、令和6年3月12日（火）に札幌市役所本庁舎10階市長応接室にて、新小学一年生に対して、交通事故傷害保険付きの「黄色いワッペン」贈呈式を行いました。「黄色いワッペン」の贈呈は、株式会社みずほフィナンシャルグループ、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険株式会社とともに行っております。2024年度は取組開始から60年目の節目にあたり、記念事業として株式会社ポケモンのご協力のもと「黄色い「ピカチュウ」ワッペン」を配布いたしました。



■車いす整備・清掃活動

損保ジャパンは、自動車整備工場の全国代理店組織「AIRオートクラブ」の札幌支部会員の皆さまと令和6年10月10日（木）に「社会福祉法人さっぽろ慈啓会 慈啓会特別養護老人ホーム」様にて、「車いす整備・清掃活動」を実施しました。ご入所さまが実際に使用している車いす22台を、整備・清掃させていただきました。



■除雪ボランティア活動

SOMPOひまわり生命と損保ジャパンは毎年除雪ボランティアに参加しております。令和6年2月は北区において自力で雪かきをすることが難しい住宅への除雪ボランティアに参加しました。



【ご参考】

SOMPOグループ全体の取組紹介として、サステナビリティ関連資料のリンク先を掲載いたします。

<SOMPOホールディングスHP>

<https://www.sompo-hd.com/csr/communications/report/>

令和3年5月11日 締結

未来のあたりまえをつくる。

DNP

- ・ 新たなエリアマネジメントの手法を通じた地域価値の向上
- ・ 誰もが住み・訪れやすいまちづくりに向けたコミュニケーションの提供
- ・ コンテンツの活用によるスポーツの魅力や街の活力の創出
- ・ 地域との関わりを深め、持続可能なまちづくりへ向けて連携・協力

◆地域との関わりを深め、持続可能なまちづくりへ向けて連携・協力

①札幌国際芸術祭2024へのイニシアティブパートナーとして参加させていただきました。



SIAF2024 の会場におけるシームレスな入場体験を実現するデジタルチケットのシステムを構築。また、各会場への誘導サインを環境に配慮したサステナブルな資材で制作するなど、サーキュラーエコノミー実現への取組を実施しました。

②「環境広場さっぽろ2024」東区役所様ブースでの環境カードゲーム体験会を提供しました。

このゲームは、生態系チームと地球温暖化チームが地球の未来をかけて戦うことで環境課題を学ぶカードゲームです。2024年8月24日(土)～25日(日)札幌ドームイベント会場の東区役所様のブースにて多数の来場者に体験いただきました。(NPO法人SoELa様ご協力)



NPO法人 SoELa
Social Entertainment Laboratory

◆誰もが住み・訪れやすいまちづくりに向けたコミュニケーションの提供

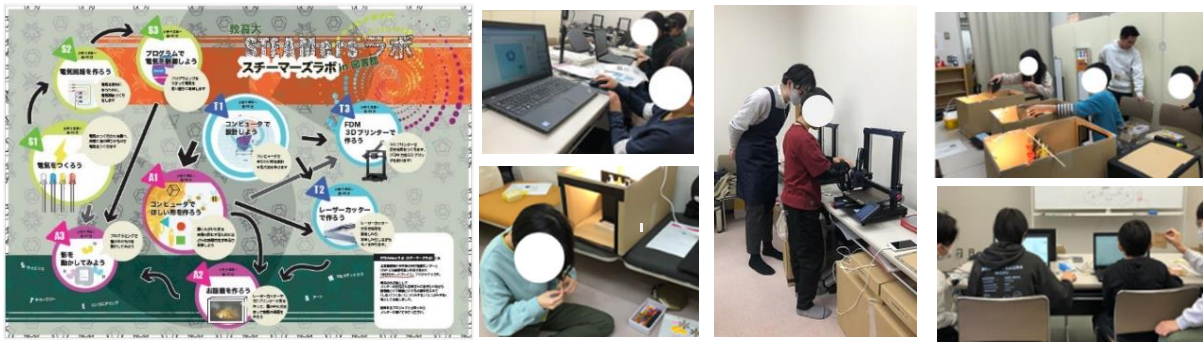
①ウィンタースポーツフェスティバル2024の自主開催(実行委員会形式)いたしました。



昨年につづき、札幌市様や関係企業、スポーツ団体様にもお力添えいただき、実行委員会形式で2024年3月9日(土)～10日(日)にサッポロティネ オリンピアゾーンにて自主開催いたしました。

◆誰もが住み・訪れやすいまちづくりに向けたコミュニケーションの提供

②札幌市中央図書館等と連携させていただき、公共図書館における「学びのサードプレイス」のメソッドと学習プログラムの開発を行いました。



当社と丸善雄松堂(DNPグループ)、北海道教育大学は、学習者が主体的に学びに取り組むためのメソッドと学習プログラムの開発を目的とした「学びのサードプレイス社会実装に向けた共同研究」の実証実験を、3Dプリンタなどのツールを用いながら、2023年10月2日(月)から2024年9月30日(月)まで札幌市中央図書館等にて実施しました。

③『あさきゆめみし』×『日出処の天子』展 -大和和紀・山岸凉子 札幌同期二人展 ならびに「白い妖怪ぱーく展」にご協賛させていただきました。



●フотスポットパネル



●ライトアニメ®(キャプチャー)



●ライトアニメ®(キャプチャー)

札幌同期二人展や白い妖怪ぱーく展では、フотスポットパネルや会場及び街頭サイネージで放映するライトアニメ®を活用した15秒プロモーション動画などを製作・協賛させていただきました。今後も産学官連携によるマンガ・アニメ等ポップカルチャーを活用したまちづくりについて支援させていただきます。

※ライトアニメ®とは、従来のアニメーション制作手法と比較して、アニメーション制作にかかる時間やコストを大幅に抑制できる新しいフローを開発し、主にマンガ原作などを持つ出版社様、キャラクターなどのコンテンツをお持ちの企業様向けに提供する大日本印刷のサービスとなります。

④札幌マラソン2024に「サステナブルパートナー」として協賛させていただきました。



●SatuMara cycle 衣服回収・資源循環製品化



●大会終了後のプロギングの取組



第49回大会にサステナブルパートナーとして協賛いたしました。当社は札幌マラソンのサステナブルな大会運営に挑戦、本大会では協賛各社と共同でRecycRunを実現するための「SatuMara cycleプロジェクト」を実行したほか、「CO2の排出量・ごみの排出量の可視化」などを進めています。また大会終了後、当社とプロギングジャパン、札幌マラソン実行委員会とのコラボ企画として札幌マラソンを実施したコースにおいてプロギング※を実施いたしました。



Plogging Japan

※プロギングとは、「走る、拾う、交流」の3つのポイントで成り立つエコスポーツ。

ランニングコースのゴミを拾いながら走ることで、健康と環境保護の両方にアプローチします。

令和4年6月9日 締結



東京海上日動

- ・ 持続可能でより良い札幌市の未来の実現に向けた協力
- ・ 多様な学びを促す充実した教育環境と健康で快適な市民生活の向上への貢献
- ・ 札幌市経済の持続的な成長への貢献
- ・ スポーツを通じた市民の健康と魅力的なまちづくりへ向けての連携・協力

● さっぽろまちづくりパートナー協定締結(2022.6.9)

東京海上日動火災保険(株)は、2022年6月9日に札幌市と本協定を締結いたしました。弊社は、「お客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、安心と安全の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献する」ことを経営理念に掲げています。弊社が培ったノウハウやソリューションの活用を通じ、“持続可能でより良い札幌市の未来”や“札幌市民や地域企業が集い憩い活躍する環境首都札幌”の実現に貢献していきたいと考えています。



● 持続可能でより良い札幌市の未来の実現に向けた協力

札幌市が主催するイベントへの協力・協賛を実施しております。また、イベントを通じて学生や市民にSDGsの啓発を実施いたしております。

● 多様な学びを促す充実した教育環境と健康で快適な市民生活の向上への貢献

札幌市が主催する『SAPPORO ウォーキングイベント』に参加しアプリを通じた市民の健康活動把握に協力しております。また、札幌市ウェルネス推進会議にも参加しており、各種関係機関と連携し札幌市のウェルネス推進に貢献していく所存です。

● 札幌市経済の持続的な成長への貢献

一般財団法人さっぽろ産業振興財団が主催(後援:札幌市)が主催するBCP・BCM事業継続計画策定セミナーを2025年2月18日に講師として登壇予定。弊社は札幌市経済の発展のためにBCP・BCM策定を支援いたします。

● スポーツを通じた市民の健康と魅力的なまちづくりに向けた連携・協力

人的派遣を行いながら、国際大会招致を支援するほか、市民の健康と魅力的なまちづくりに貢献するために、各種スポーツイベントにもボランティアとして携わらせていただきます。

取組み紹介『ウェルビーイングナビ』を用いた企業様の個別支援について

- ✓ 札幌市ウェルネス推進課にて開催頂いた「ウェルネス企業サポートプログラム」に参加し、個別の無料支援として弊社サービス『ウェルビーイングナビ』を紹介しました。
- ✓ サポートが決定した企業様について、ウェルナビをご提供し、アンケートにて“従業員様の課題”の可視化を実施しました。
- ✓ 今後、企業様の課題解決に向け、従業員様向けの各種セミナーや福利厚生制度の見直し支援等を検討しています。

ウェルネス企業サポートプログラム
～従業員の健康づくりに取り組む中小企業を応援～

主催：札幌市 協力：札幌商工会議所

『従業員の活力や生産性向上、人材確保のためにも取り組みたいけど、何から始めたらいいのかわからない…もったいないだろうか…』とお考え・お悩みの経営者や人事・総務部門等の皆様へ

★豊富なノウハウを持つ「サポート企業（※）」が、
無償で約6か月間（～12月・1月頃まで）サポート！

『サポートを受けてみたい』『話だけでも聞いてみたい』とお考えの皆様に向けて、下記のとおり事業説明会を開催いたしますので、お気軽にご参加ください。

（※）市・市内企業の健康・ウェルネス推進に向けて札幌市と協定（さっぽろウェルネスパートナー協定）を結んでいる企業

～事業説明会のご案内～

【日 時】令和6年6月6日（木）13：30～

13：00～：開場、受付 <札幌市HP>

13：30～14：40頃：「サポート企業」7社によるサポートメニューのご説明（概要は裏面参照）

14：40頃～：個別相談会

事業説明会

<メニュー説明> <個別相談>

①サポートを希望する企業を選び、事務局に申し込みます。
※申込方法は説明会や札幌市HPでご案内

②事務局がマッチングを行います。
6、7月頃からサポート企業と面談等を行いながら約6か月間取り組めます。

③報告会等で取組結果をご報告いただきます。
また、取組について札幌市HP等で公表します。

【会 場】アステイホール（札幌市中央区北4条西5丁目アステ45-4F）

【対 象】札幌市内に本社を有する中小企業

【参加費】無料

【参加申込期間延長】6月3日（月）までに企業名・ご担当者名・参加人数を wellness@city.sapporo.jp へお知らせください

問い合わせ先（事務局）：札幌市保健福祉局ウェルネス推進課企画係
Eメール：wellness@city.sapporo.jp 電話番号：011-211-3511

企業様のウェルネス推進に向けた
ご支援について（ウェルビーイングナビ）

東京海上日動火災保険株式会社
札幌支店 金融公務チーム

SAPPORO
ウェルネス

To Be a Good Company

東京海上日動



『ウェルビーイングナビ』の概要

無料でご利用いただけます

～従業員が心身ともにいきいきと働く職場づくりをご支援～

アンケートで診断、企業の課題が見える化

従業員の声・データに基づき、効果的なウェルビーイング経営を実現！

従業員アンケート 経営者へのフィードバック 課題に対する支援・提案

71問 アンケート

・いきいき度・エンゲージメント
⇒満足度：仕事、会社取組、制度・風土/実態：コミュニケーション、一体感、働き方

・職場リスク
⇒ハラスメント、事故発生可能性（運動、睡眠、食事、過労、等）

・心の健康状況
⇒悩み・不安（妻、対処状況）

・体の健康状況
⇒身体：感覚、通院、身体疾患

⇒生活習慣：食事、運動、喫煙、睡眠、飲酒

ウェルビーイングナビ

事故・訴訟（企業防衛）
従業員の不安（福利厚生充実）

【各種支援サービス】

- ・福利厚生制度の導入、見直し
- ・従業員向け各種セミナーの実施
- ・ストレスチェックサービスの提供
- ・社外の相談窓口の提供
- ・健康経営優良法人認定取得のアドバイス 等

札幌市様の
ウェルネスプロモーションとして
北海道新聞の紙面にご掲載頂きました！

株式会社 良品計画

- ・文化芸術の振興やまちの魅力向上に関すること
- ・共生社会の実現に関すること
- ・子育てに優しいまちづくりや若者の成長支援に関すること
- ・「環境首都・SAPPORO」実現に向けた取組に関すること
- ・安全・安心、防災に関すること

■ 文化芸術の振興やまちの魅力向上に関すること

① 札幌国際芸術祭(SIAF)2024に、イニシアティブパートナーとしての参加

札幌市内の無印良品では、会期前からSIAF2024のトークイベントやワークショップなどの連動企画を開催しました。

2024年2月4日から11日の期間中は、さっぽろ雪まつり大通2丁目会場で、パノラマティクスと共に移動や暮らしなどの未来を構想する「未来の雪のまち」の演出を手がけました。

② シャワー通り・中通りでの社会実験

2024年7月、中央区南1条の中通り・さっぽろシャワー通りでの「札幌都心部の中通りを魅力的にする社会実験」にて、空間デザインの作成、ならびに、飲食物の提供などを通して、道路空間の活用に協力させていただきました。

③ NoMaps 2024・NoMaps SPORTS×Town Picnic 2024

2024年9月14日・15日、さっぽろホコテン(大通地区・歩行者天国)において、「AOZORAマルシェ」をプロデュースし、札幌市ならびに近隣市町村の皆様に、さっぽろ連携中枢都市圏のPRブースを出展いただきました。

④ 札幌市の文化芸術に関するイベントの協業

札幌市の市民文化局と連携し、市民の皆様が文化・アートに触れる機会の創出を行っています。

2024年9月28日、無印良品札幌パルコ×博物館活動センター「北海道のどんぐりトーク&ストラップ作り」を開催しました。

2024年11月、さっぽろアートステージ20周年特別企画として、「本物そっくりなサンマのオブジェを作ろう!」を無印良品札幌パルコで開催しました。



■ 共生社会の実現に関すること

① ボーダレスマルシェ

ボーダレスマルシェは、障がいの有無に関わらず、人々が繋がることを目的としたマルシェです。半年おきに1回のペースで開催しています。イベントには、障がいのある方の就労支援事業を運営する団体や、高等支援学校などが出店し、授産製品の販売や、ワークショップを行っています。

2024年7月開催においては、北海道武蔵女子大学の産学連携プロジェクトの実践的な学びの場として、良品計画の社員が訪問授業を行い、事前の告知やイベント運営のサポートを体験してもらいました。

② 元気ショップ・出張プチマルシェ

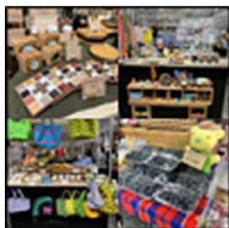
無印良品札幌パルコでは、2023年5月より、月に1回、大通駅コンコースの「元気ショップ」(札幌市障がい者施設等製品常設販売所)の出前販売を招致しています。2024年6月からは、札幌駅に店舗を構える「元気ショップいこ〜る」の出前販売も開始。授産製品の魅力を伝え、売上に繋げていくことで、作り手・使い手双方の暮らしが豊かになるお手伝いになるよう、この取り組みを継続しています。

③ 各種セミナーでの情報発信

就労支援事業(障がい者元気スキルアップ事業)の障がい者雇用セミナー(2024年2月)、札幌市の職員の皆さまとの障がい者雇用推進のための座談会(2024年7月)、心のバリアフリー研修(2024年10月)において、(株)良品計画の障がい者雇用(ハートフルPJT)の事例の発信をしました。

④ ウェルネスイベント

2024年10月12日、札幌市・ウェルネス推進部と連携し、「1アクションからはじめよう。ウェルネス何スル? in 無印良品」を開催しました。



■ 子育てに優しいまちづくりや若者の成長支援に関すること

① 市内の高等学校、大学での出前授業

市内の3校の高等学校での探求授業に良品計画の社員が外部講師として参画しています。市内の大学では、2校の大学の授業にも協力しています。

② みなみの杜支援高等学校

2024年6月・7月、職業ゼミ(探求授業)で、無印良品のものづくりや資源循環について講義しました。また、9月・11月には、職場体験実習の受け入れを実施しています。

③ がんばる高校生応援マルシェ

札幌市を含む北海道内の高校生たちが、自分たちが企画や製造に関わった商品を持ち寄って販売する「がんばる高校生応援マルシェ」を、不定期で開催しています。2024年11月の開催では、市内8校、小樽市1校、当別町1校、計10校の高等学校が出店しました。

■ 「環境首都・SAPPORO」実現に向けた取組に関すること

① 回収事業/フードドライブ

2024年2月より、フードドライブの回収ボックスを設置しました。

また、無印良品各店の店内には、不要になった無印良品の布製品、収納用品、使い終わったプラボトルなどを回収する回収ステーションを設けており、資源循環に関する情報発信も併せて行っています。

② トークイベント

フードドライブの開始に伴い、フードロス問題について考えるトークイベントをフードドライブ事業の関係者の皆様と開催(2024年2月)、さっぽろ・「スリムネットの資源をごみにしないためにできること」(2024年3月2日)、および、「プラスチック資源循環に関する市民参加ワークショップ」(2024年10月19日・北海道大学)において、良品計画の資源循環の取り組みについて講演をしました。

■ 安全・安心、防災に関すること

① 自転車マナー

2024年5月11日・12日、昨年に続き、札幌市・交通安全推進担当と連携し、自転車マナーの啓発イベントを無印良品札幌パルコの店内で実施し、ヘルメット着用の努力義務化についての情報発信などを行いました。



